

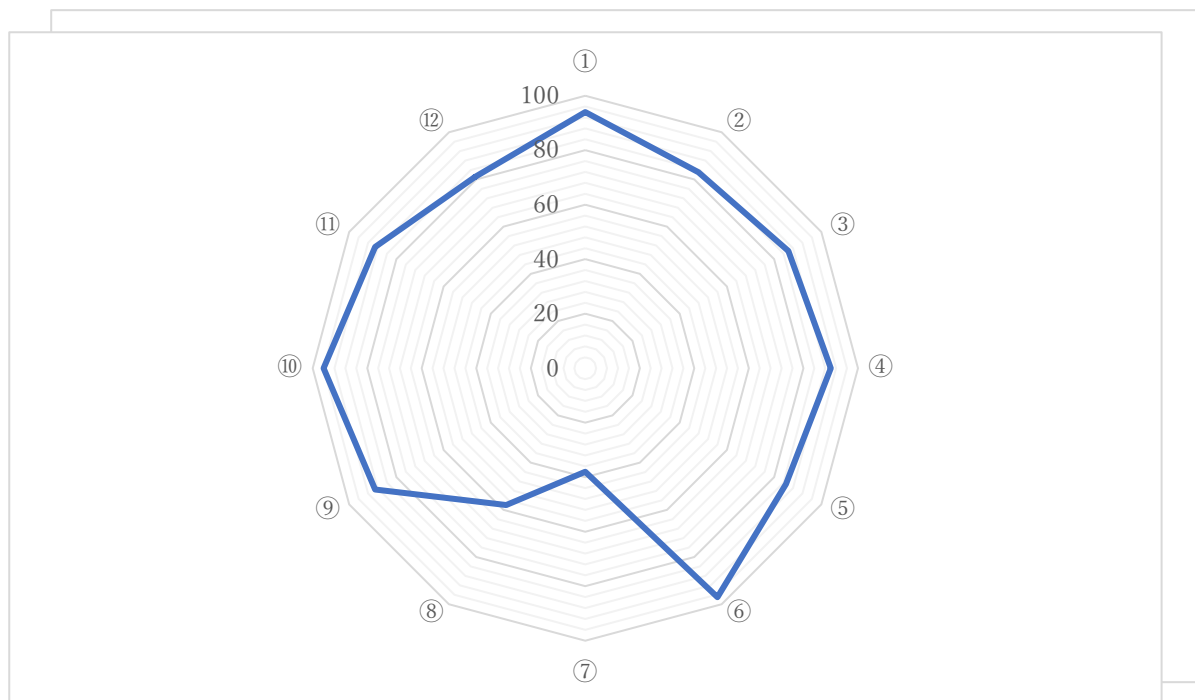
自己評価集計結果

<評価方法>

評価を4段階とし、項目を①~⑫に分け、それぞれの合計点をだす。

下記の集計表及びレーダーチャートは、回答した保育者の点数の平均点を表示している。

		R3 12月 回答数 10名	R4 2月 回答数 6名
評 価		平均点	平均点
I 保育の基本的理念と実践に係る観点	① 子どもの最善の利益の考慮（6項目）	92	94
	② 子どもの理解（9項目）	86	83
	③ 保育の環境（人・物・場）の構成（7項目）	81	86
	④ 保育士等の子どもへの関わり（援助・行動・言語・位置・タイミング・配慮等）（7項目）	77	90
	⑤ 育ちの見通しに基づく保育（8項目）	69	85
II 家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点	⑥ 入所する子どもとの家庭との連携と子育て支援（8項目）	82	97
	⑦ 地域の保護者等に対する子育て支援（4項目）	28	38
	⑧ 地域における連携・交流（4項目）	62	58
III 保育の実施運営・体制全般に係る観点	⑨ 組織としての基盤の整備（8項目）	88	89
	⑩ 社会的責任の遂行（3項目）	85	96
	⑪ 健康及び安全の管理（12項目）	84	89
	⑫ 職員の資質向上（6項目）	73	77



まとめ

⑦「地域の保護者等に対する子育て支援」については、コロナ禍のなか外部の受け入れが難しいこと、また保育の人員不足もあり電話での相談や情報提供など出来ることを進めていくようにしている。⑧「地域における連携、交流」はイベントも縮小しているため招待することも出来ずにいるが、年に一度の近隣の老人施設へはガラス越しで短い時間ではあるが交流を図り喜んでいただいた。また小学校との交流も短時間ではあるものの、年に一度交流する機会を持っている。人員不足のため子育て支援員といった非常勤職員が会議に参加できないため保育の運営内容等の細かな説明ができない状況である。どこかで時間を作り参加してもらうことで、丁寧に説明していき、職種に関係なく理解してもらえるよう働きかけていくようにしたい。